



2020年9月期第3四半期 決算概要

(2020年4月1日～2020年6月30日)

シミックホールディングス(株)

2020年7月31日

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外
※印は持分法適用会社



セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2020年6月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC ASIA-PACIFIC (AUSTRALIA)PTY LTD CMIC ASIA-PACIFIC (THAI LAND) LIMITED CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC.
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO西根(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックバイオ株式会社 シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)マツキャンエムディエス ※
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケアサービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務並びにBPO・人材サービスに係る業務	シミックヘルスケア・インスティテュート(株) シミックキャリア(株) シミックウエル(株)
IPM事業	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

当期の主な取り組み



✓ “2019-2021中期計画” 重点取組事項の推進

- ◆ PVCモデルに加え、製造販売業の許認可を組み合わせたIPMソリューションビジネスの加速
 - ・海外製薬企業からIPMプラットフォーム活用ニーズの高まり
- ◆ エリア競争力強化とグローバル化促進
 - ・アジア拠点の拡大（タイ）
- ◆ ヘルスケアビジネスの創出
 - ・電子お薬手帳「harmo」事業、自己検査サービス「Selcheck」拡大

✓ COVID-19 対応

- ◆ COVID-19治療薬の開発支援業務等の新規案件獲得に向けた営業活動
- ◆ COVID-19関連業務と支援活動
 - ・抗インフルエンザウイルス薬の臨床試験および製造支援をはじめ、治療薬の開発案件対応
 - ・COVID-19研究用抗体検査キットの販売
 - ・「harmo（ハルモ）」を通じたCOVID-19関連情報の配信

✓ 株主優待制度の導入

- ◆ 2020年3月31日時点で当社株式100株（1単元）以上保有の株主様を対象として開始

当期の主な取り組み（セグメント）



CRO事業

- ▶ Virtual Clinical Trialの推進（MICIN社とバーチャル臨床試験システムの共同開発）
- ▶ Real World Dataの活用（サスメド社とAIを用いたビッグデータ簡易解析ソリューションの提供開始）
- ▶ 市販後の臨床研究、調査の強化

CDMO事業

- ▶ 足利工場新注射剤棟やUSにおける受注活動促進
- ▶ US生産体制の拡張

CSO事業

- ▶ 高度な専門知識とディテリングスキルを持ったMRの育成
- ▶ メディカルアフェアーズ分野のサービス拡大

ヘルスケア事業

- ▶ 2020年1月付 SMO会社とヘルスケア情報サービス子会社を合併 臨床試験支援ノウハウと、疾病予防・健康情報やIT技術を融合
- ▶ 電子お薬手帳「harmo」事業、協業によりユーザ100万人の電子お薬手帳を活用した共通サービスへ展開促進
- ▶ 慶應義塾大学と、「harmo（ハルモ）」の基盤を活用し適切な予防接種管理の推進を目指す共同研究を開始
- ▶ 自己検査サービス「Selcheck」シリーズ拡大

IPM事業

- ▶ IPMプラットフォーム提供による海外製薬企業の日本市場進出支援

連結損益計算書（要約）



	2019/Q3		2020/Q3		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	54,855	100.0	56,736	100.0	1,881	3.4
営業利益	4,028	7.3	3,137	5.5	△890	△22.1
経常利益	3,643	6.6	3,486	6.1	△157	△4.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,909	3.5	2,373	4.2	464	24.3
1株当たり 四半期純利益	103円04銭		131円26銭			

営業外損益・特別損益・税金の内訳



(百万円)

2019/Q3 2020/Q3

2019/Q3 2020/Q3

	2019/Q3	2020/Q3
営業外収益内訳	73	519
受取利息	3	3
持分法による投資利益	—	401
その他	70	115

	2019/Q3	2020/Q3
営業外費用内訳	458	170
支払利息	84	89
持分法による投資損失	162	—
為替差損	173	45
その他	38	35

	2019/Q3	2020/Q3
特別利益内訳	7	46
固定資産売却益	7	5
投資有価証券売却益	—	10
子会社株式売却益	—	30

	2019/Q3	2020/Q3
特別損失内訳	190	75
減損損失	124	—
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	65	75

	2019/Q3	2020/Q3
税金費用	1,823	877
法人税等	1,080	290
法人税等調整額	742	587

3Q実績 セグメント別売上高および営業利益



		2019/Q3 (百万円)	2020/Q3 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	27,523	25,605	△1,918	△7.0
	営業利益	5,718	4,288	△1,430	△25.0
C D M O 事業	売上高	11,858	15,199	3,340	28.2
	営業利益	△156	15	172	-
C S O 事業	売上高	5,795	6,516	720	12.4
	営業利益	100	768	667	661.6
ヘルスケア事業	売上高	7,613	7,463	△149	△2.0
	営業利益	946	586	△360	△38.1
I P M 事業	売上高	2,695	2,564	△131	△4.9
	営業利益	△199	121	320	-
調整額	売上高	△631	△612	19	-
	営業利益	△2,381	△2,642	△260	-
合計	売上高	54,855	56,736	1,881	3.4
	営業利益	4,028	3,137	△890	△22.1

受注高・受注残高



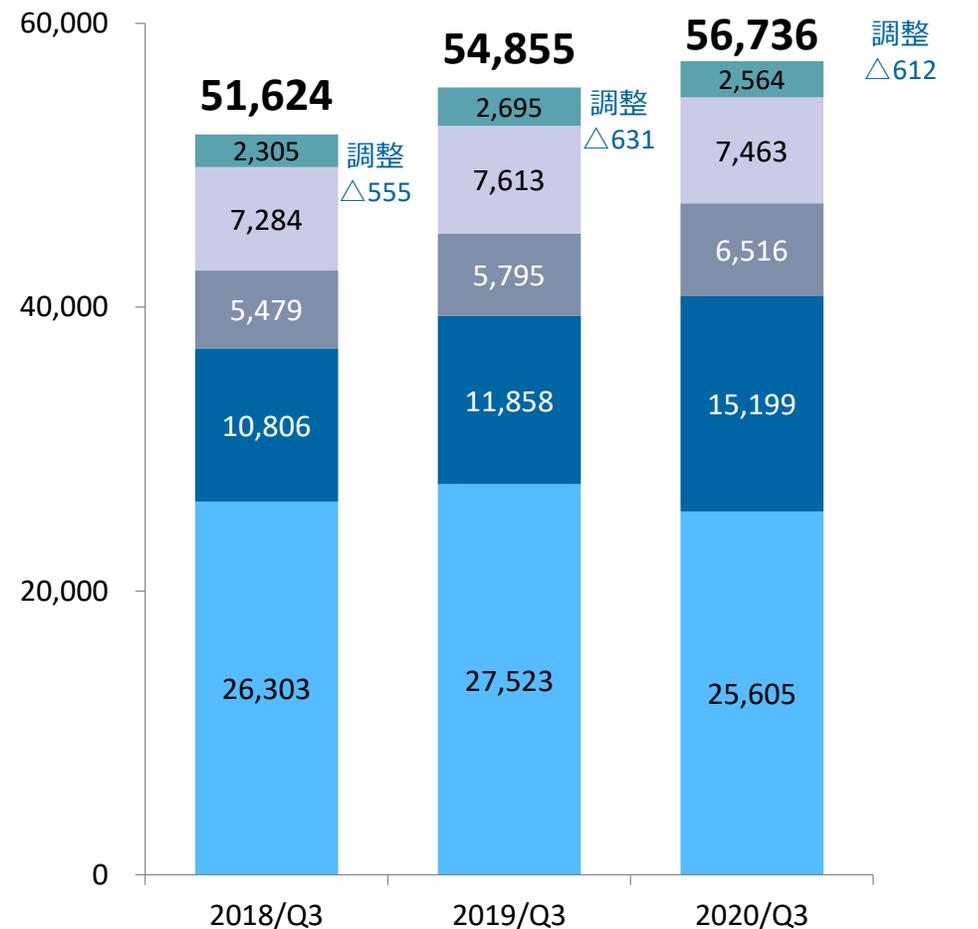
	2019/Q3		2020/Q3			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	26,539	54,667	25,310	△4.6	53,552	△2.0
C D M O 事業	14,104	6,121	15,576	10.4	5,728	△6.4
C S O 事業	7,279	4,747	6,298	△13.5	3,805	△19.9
ヘルスケア事業	8,259	11,021	7,369	△10.8	11,458	4.0
合計	56,183	76,557	54,555	△2.9	74,544	△2.6

- ・CSOの受注高は、前年同期の大型案件獲得の反動による減少
- ・CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない
- ・IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注実績から除外している

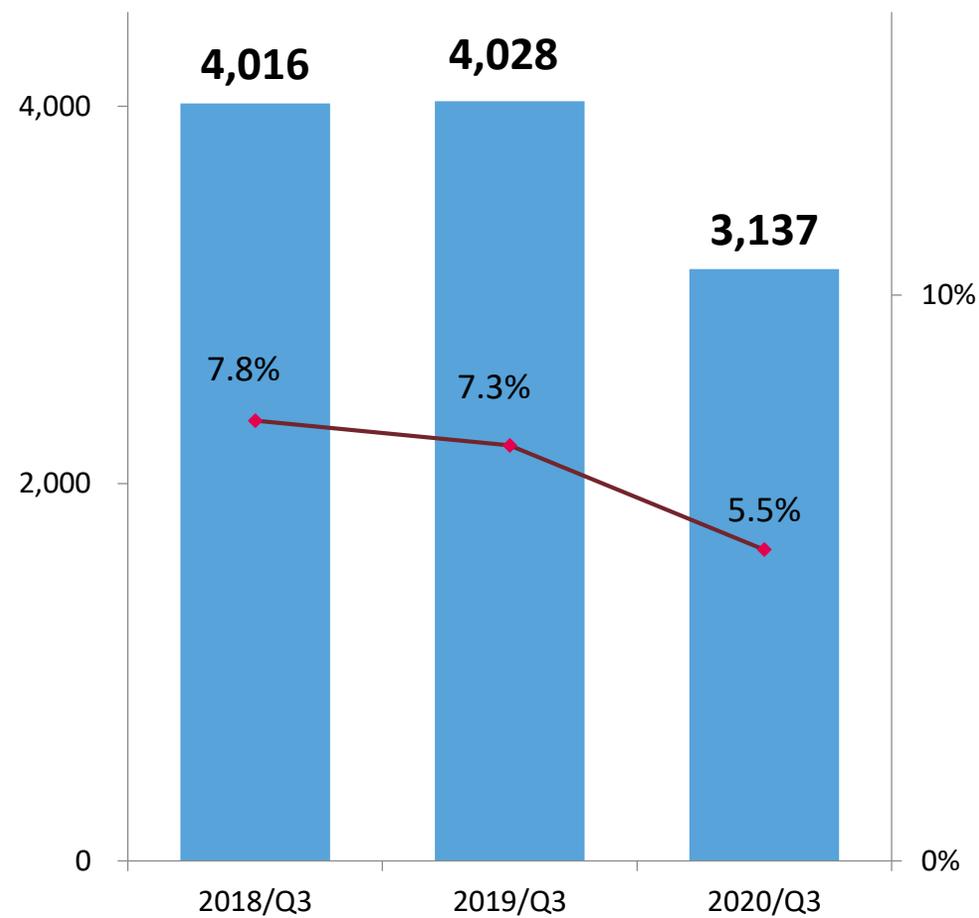
連結売上高および営業利益の推移



【売上高 (百万円)】



【営業利益 (百万円)】



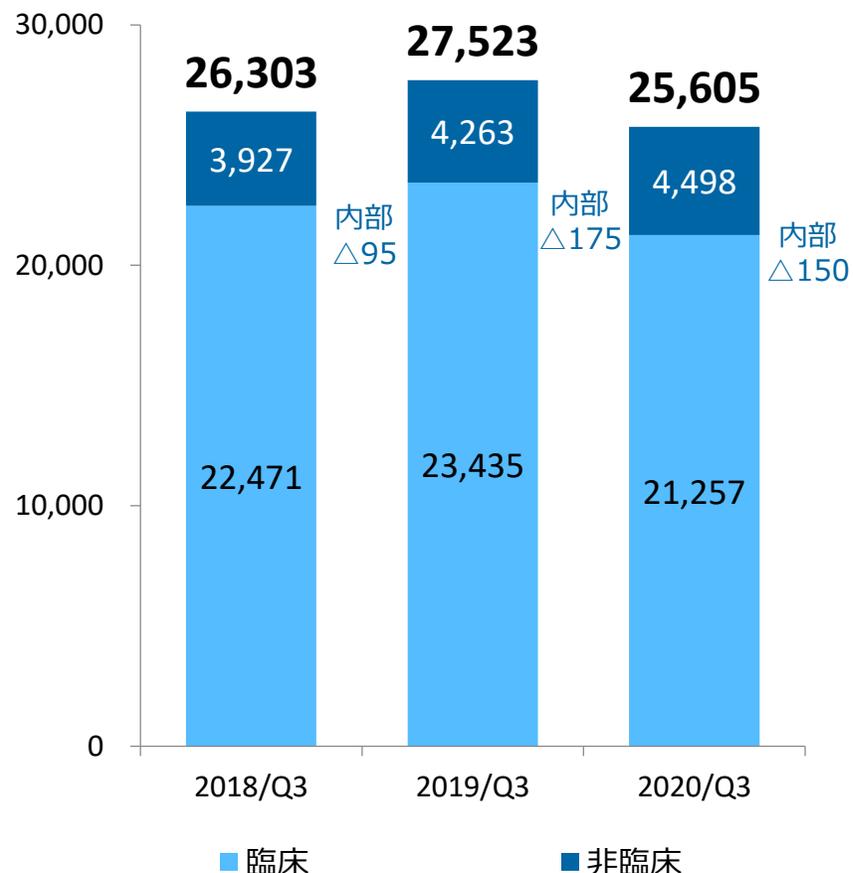
■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

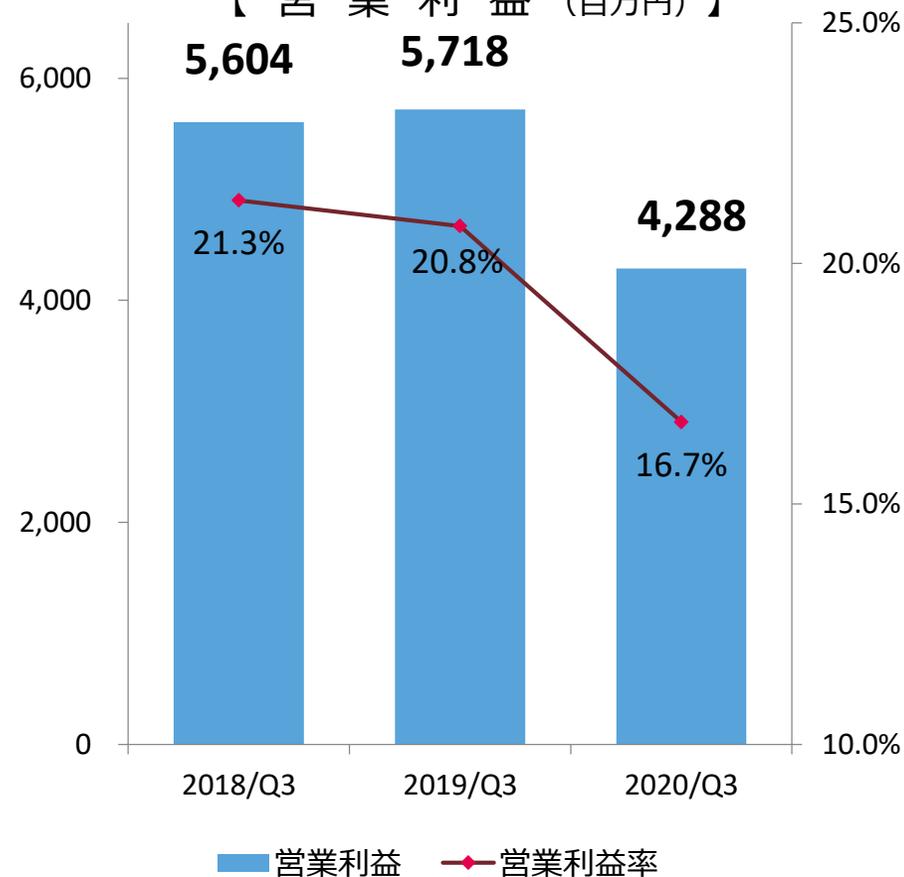
医薬品開発支援（CRO）事業



【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】



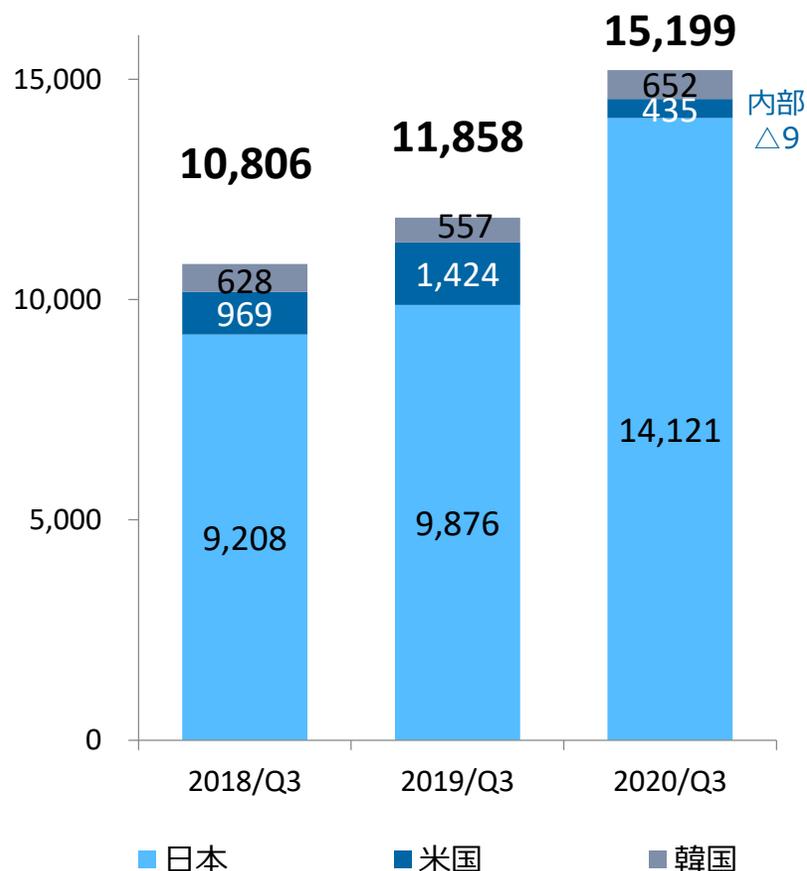
海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、バイオ医薬品や再生医療等製品など高度化する開発ニーズへの対応を促進。同一案件にグループの複数の事業が関与するPVC案件や、オンライン診療を活用したバーチャル臨床試験及び電子お薬手帳を用いた治験プロセス効率化等のデジタルを活用した臨床試験の提案促進、人材の専門性及び技術力向上に注力

売上高は、臨床業務において、開発案件の小型化・難易度の上昇等の影響により、受注獲得の遅れや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりプロジェクトの開始延期や中止が発生したこと等により前年同期を下回る。臨床業務における稼働率が低下したこと等により、営業利益も前年同期を下回る

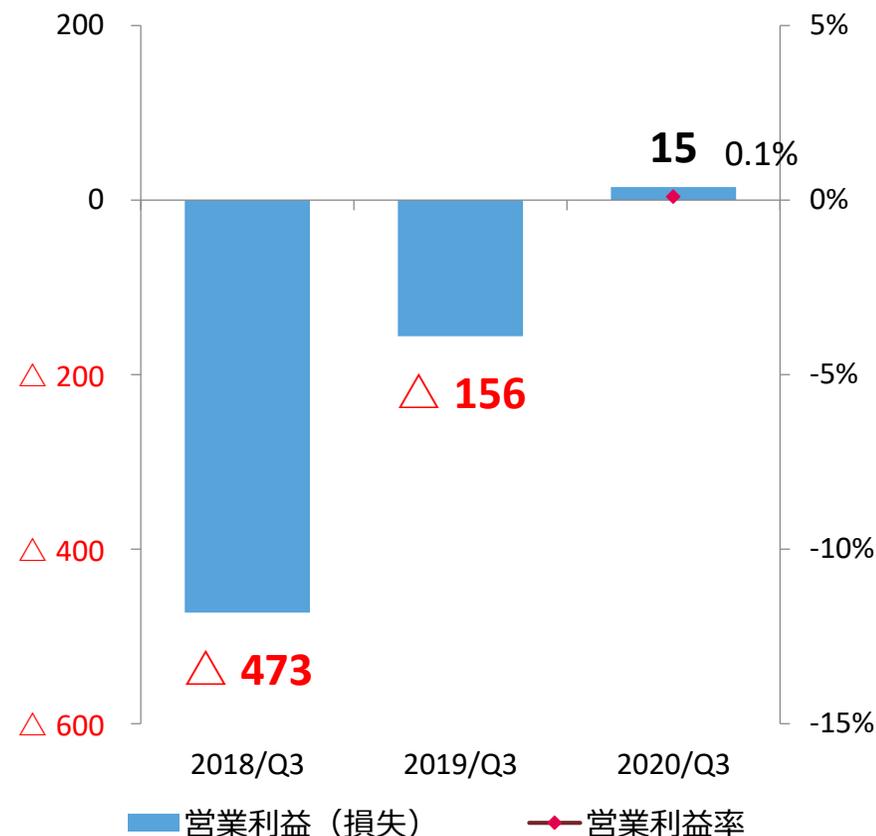
医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業



【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】



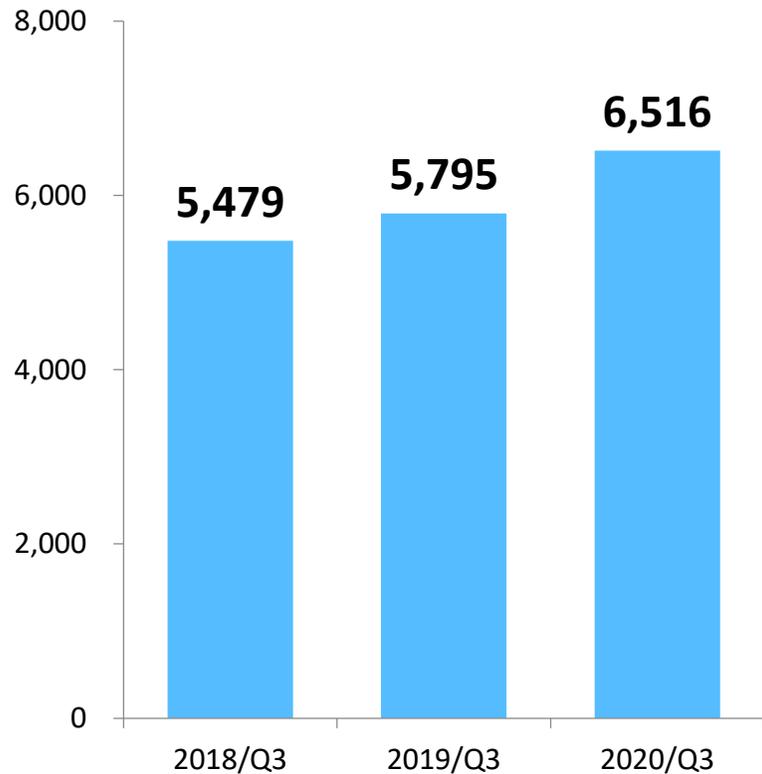
製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、技術力の更なる向上とローコスト生産体制の進展、戦略的な設備投資を通じた競争力強化を図る

売上高及び営業利益は、米国において顧客の在庫調整による受託生産量の減少があったものの、国内における受託生産量の増加と、2019年6月に事業を開始したシミックCMO西根株式会社の寄与により、前年同期を上回る

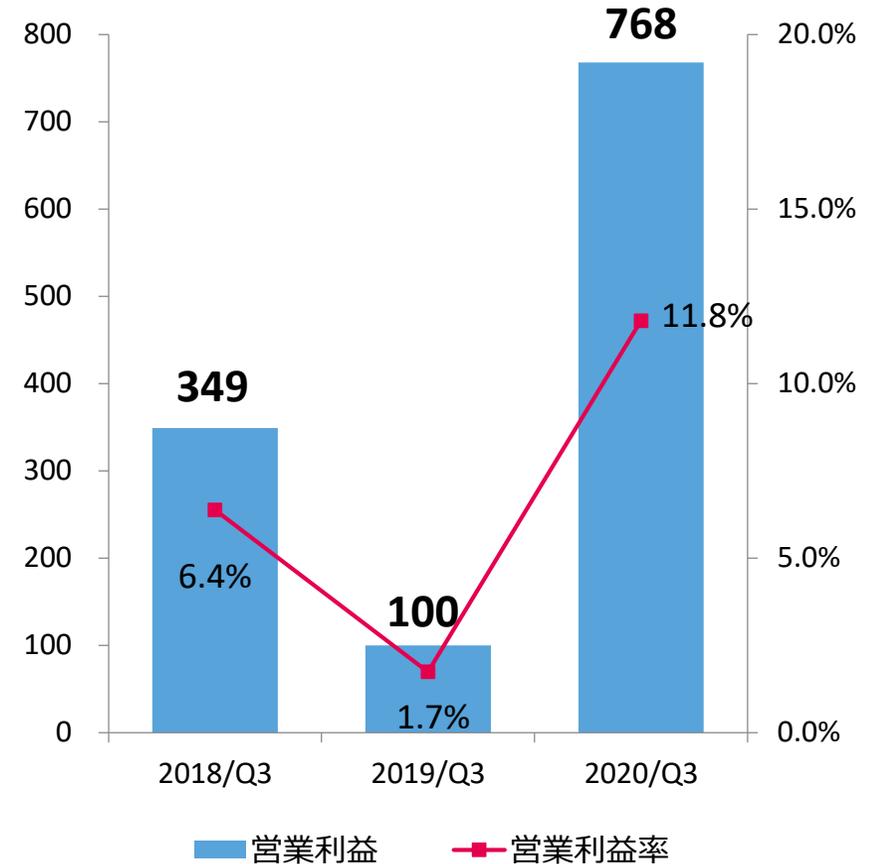
医薬品営業支援（CSO）事業



【 売上高（百万円）】



【 営業利益（百万円）】



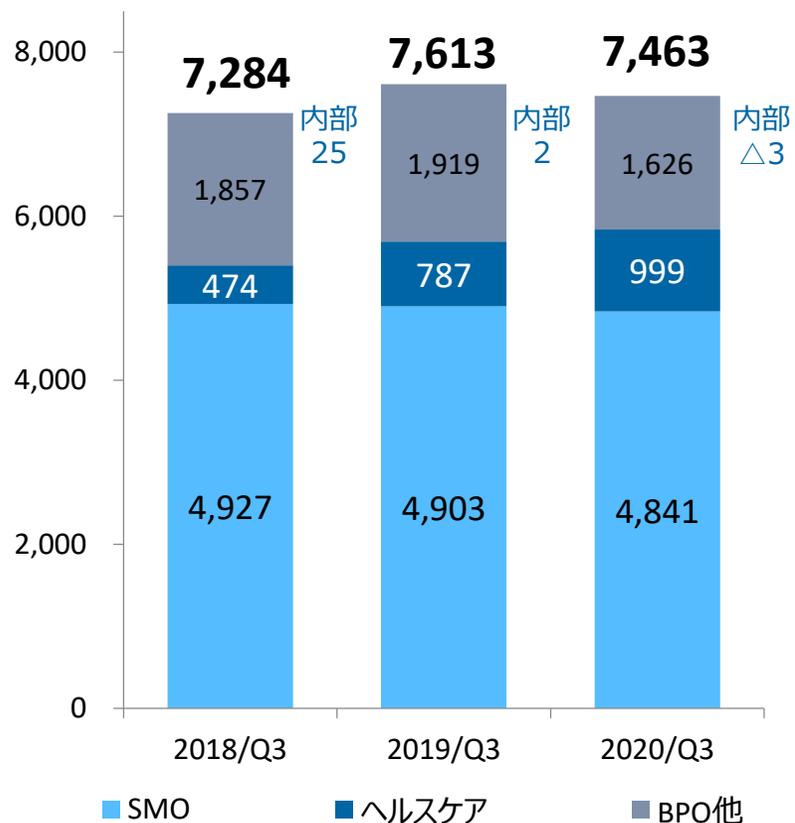
MR（医薬情報担当者）派遣業務や関連する新たなサービスに加え、メディカルアフェアーズ関連業務の営業活動を強化し、複数のコミュニケーションチャネルと多様なサービスを組み合わせた総合的なソリューションを提供。

売上高及び営業利益は、前期に獲得したMR派遣業務の案件が堅調に進捗し、稼働率が高い水準で推移したこと等により、前年同期を上回る

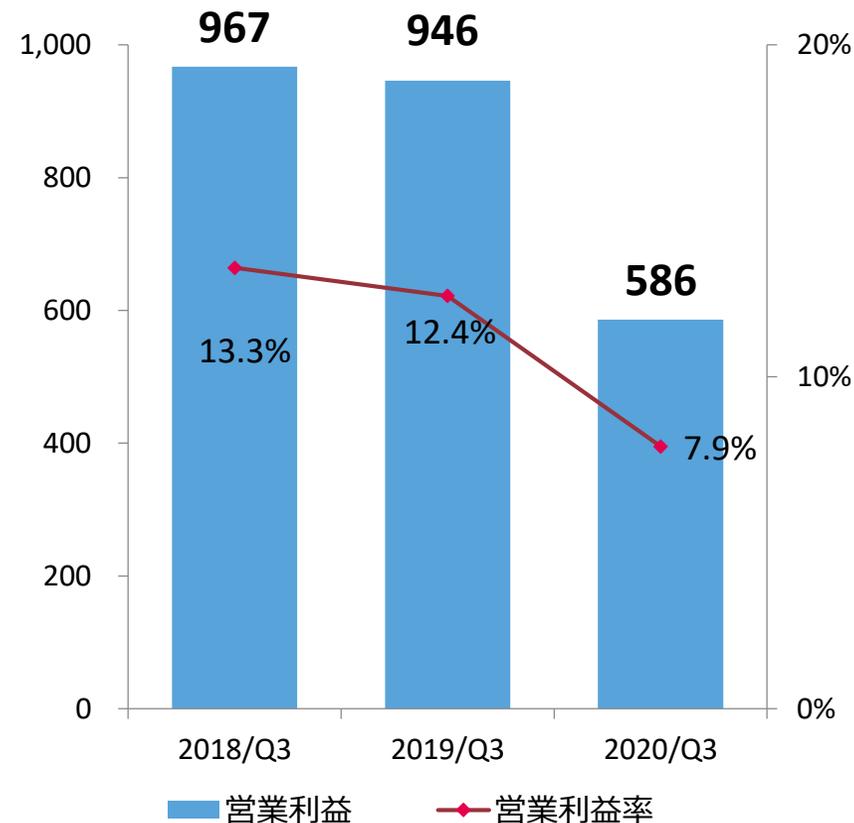
ヘルスケア事業



【 売上高 (百万円) 】



【 営業利益 (百万円) 】



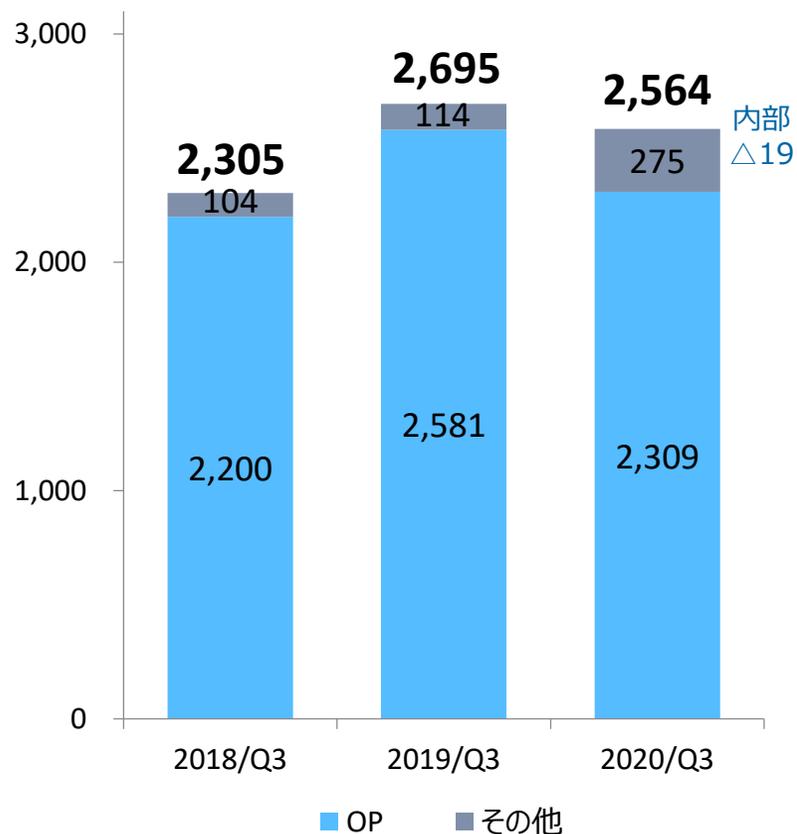
SMO業務の新規受注確保と、新規ヘルスケアビジネスの早期収益化に取り組む。

売上高は、ヘルスケアサービスが伸長したものの、BPO・人材サービス等において業務量の減少があったことから、前年同期を下回る。営業利益はBPO・人材サービスの売上の減少と、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資を行っていることにより、前年同期を下回る

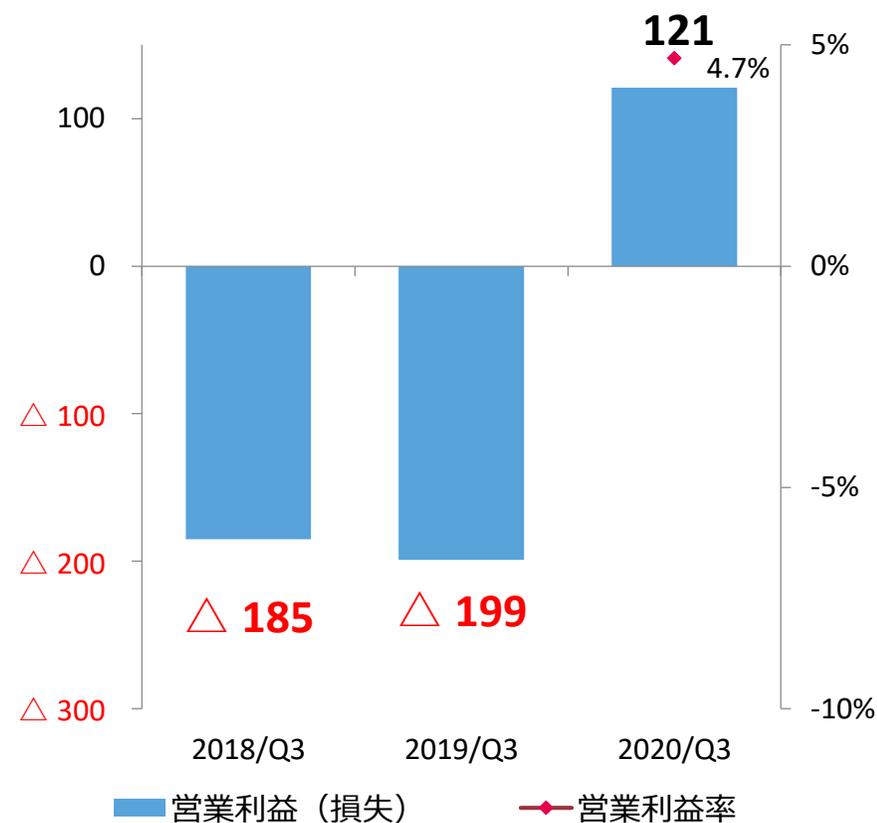
Innovative Pharma Model (IPM) 事業



【 売 上 高 (百万円) 】

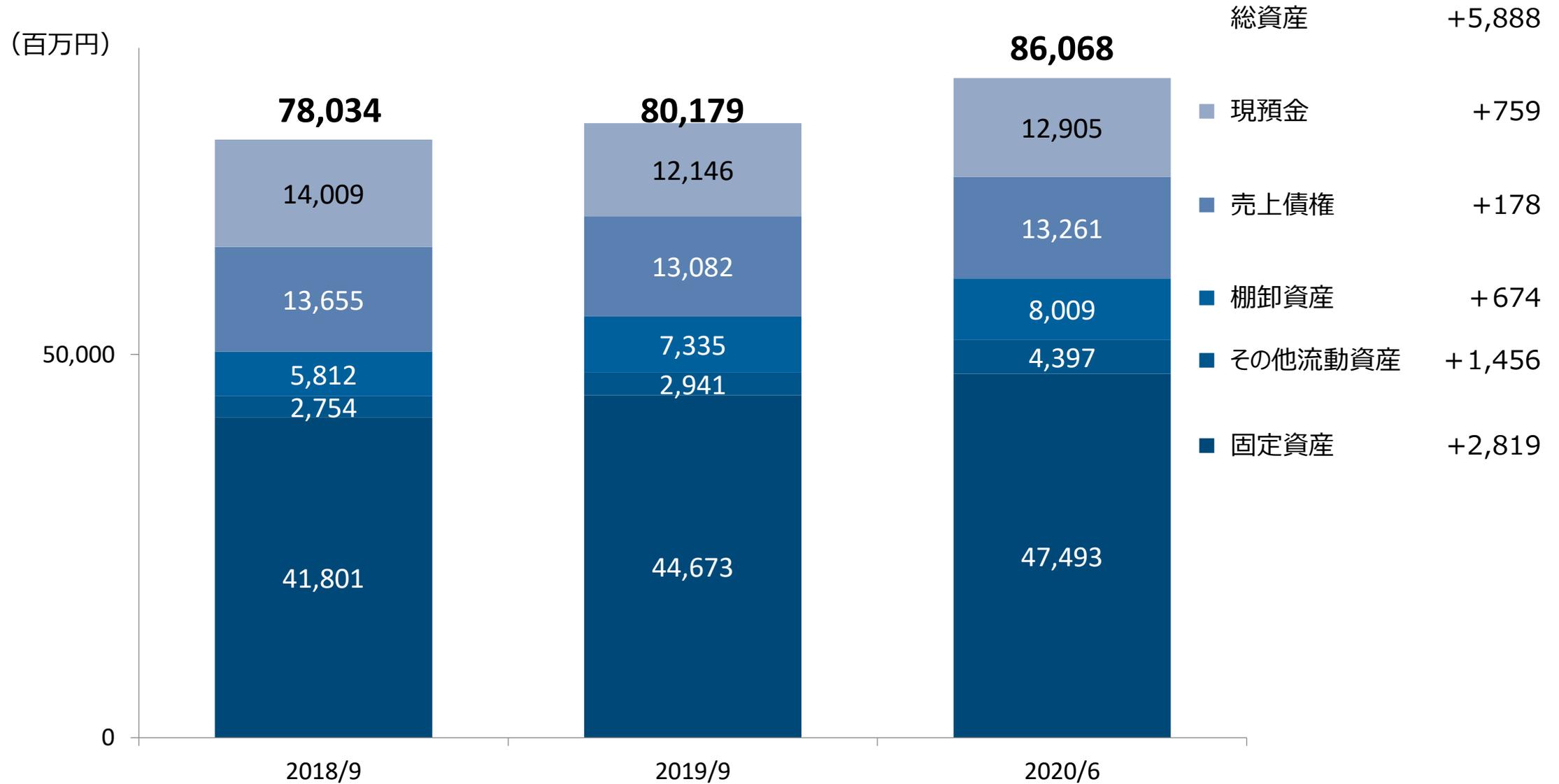


【 営 業 利 益 (百万円) 】



自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売や、海外製薬企業の日本市場進出支援、製薬企業のビジネスモデル変化に応じた戦略オプションの提供等を行う。特に昨今、海外製薬企業からのIPMプラットフォームの活用ニーズが高まり、複数案件が進捗中。
売上高は、一部製品の販売量が減少したため前年同期を下回ったが、原価低減および手数料収入等の効果により、営業黒字を計上

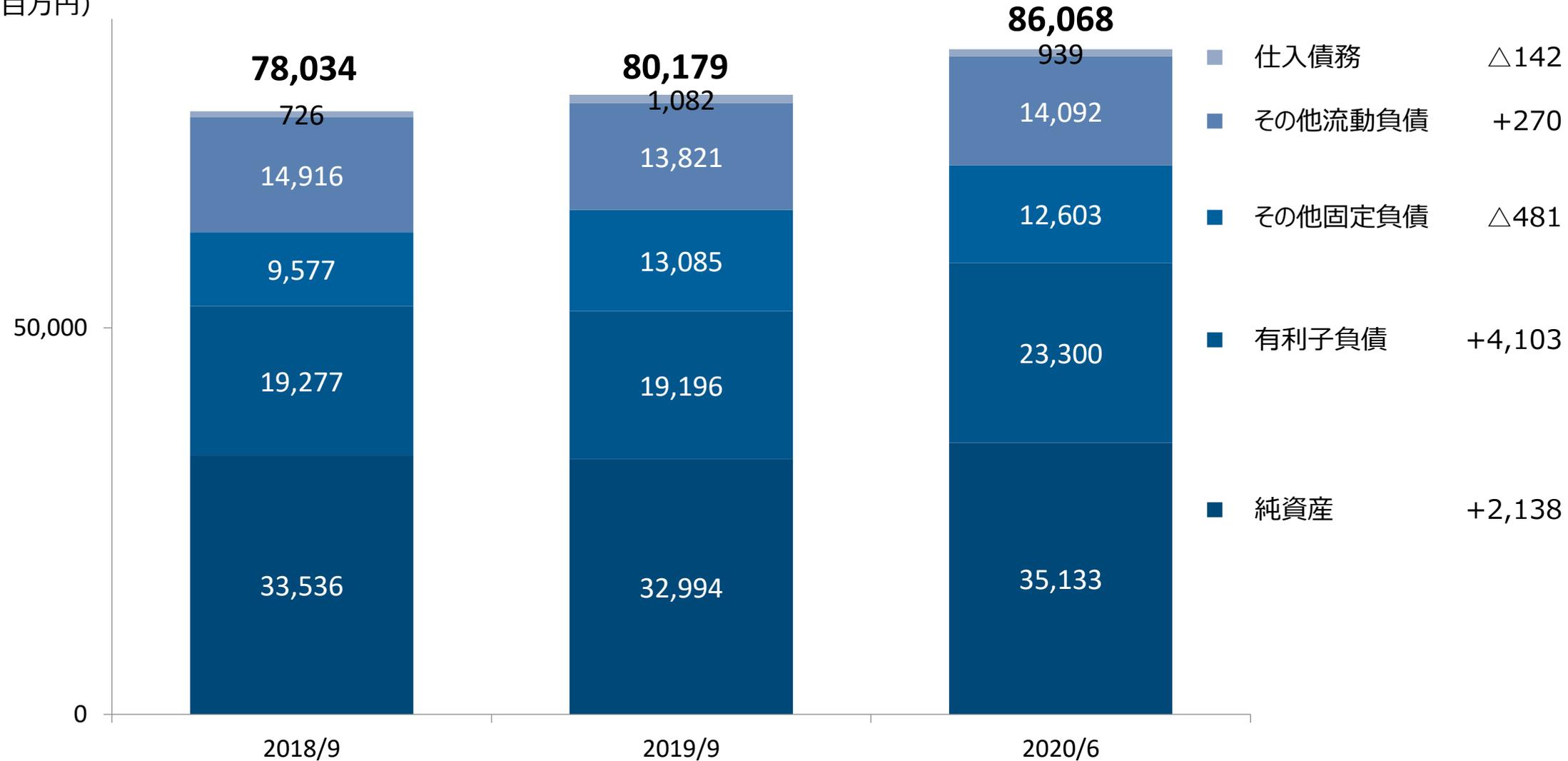
連結貸借対照表（資産の部）



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



(百万円)



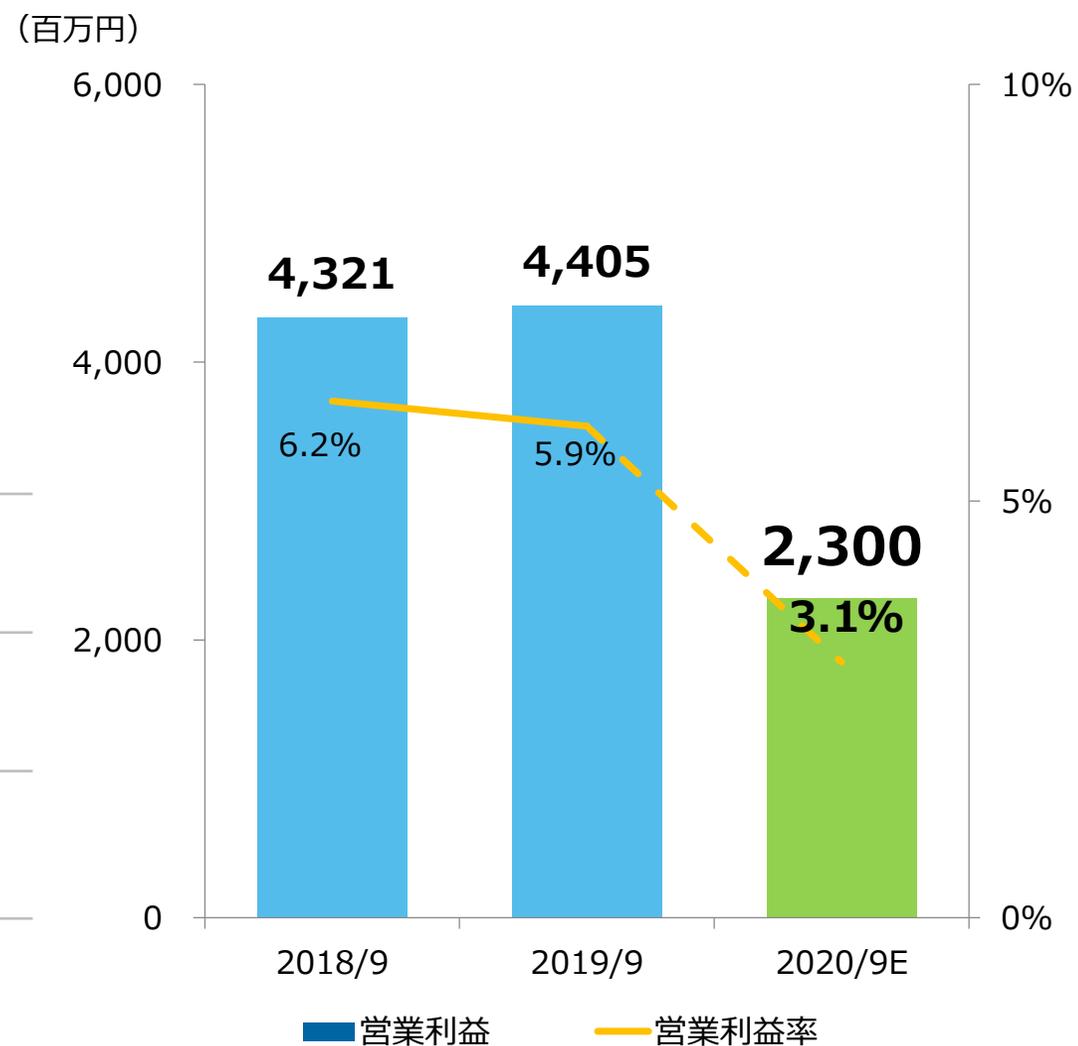


2020年9月期 業績見通し

2020年9月期 通期見通し



	2019/9 実績 (百万円)	2020/9 当初計画 (百万円)	2020/9 期末見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	74,373	81,500	75,000	0.8
営業利益	4,405	4,900	2,300	△47.8
経常利益	3,841	4,600	2,600	△32.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,822	2,300	1,350	△25.9
1株当たり当期純利益	98円93銭	127円26銭	74円66銭	



2020年9月期 通期見通し (セグメント別)



		2019/9実績 (百万円)	2020/9見通し (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	36,522	33,500	△3,022	△8.3
	営業利益	6,623	4,880	△1,743	△26.3
C D M O 事業	売上高	17,292	20,500	3,207	18.5
	営業利益	116	△190	△306	-
C S O 事業	売上高	7,929	8,600	670	8.5
	営業利益	236	770	533	225.5
ヘルスケア事業	売上高	10,107	9,970	△137	△1.4
	営業利益	1,158	610	△548	△47.4
I P M 事業	売上高	3,368	3,260	△107	△3.2
	営業利益	△396	80	476	-
調 整 額	売上高	△846	△831	15	-
	営業利益	△3,332	△3,850	△517	-
合 計	売上高	74,373	75,000	626	0.8
	営業利益	4,405	2,300	△2,105	△47.8



通期業績見通しに合わせ、期末配当予想を修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年5月1日発表)	5.00	未定	未定
今回修正予想		17.00	22.00
当期実績	5.00		
前期実績 (2019年9月期)	5.00	27.00	32.00

<利益配分に関する基本方針>

- ・連結配当性向 目標30%
- ・年間配当金の下限を10円とした安定配当の実施



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。